

令和8年度 学校経営計画書

石川県立七尾高等学校

校長 樋上 哲也

1. 教育目標

- (1) 真理と正義を愛する心を育て、個性の伸長を図る。
- (2) 敬愛協和の社会的資質を養い、平和愛好の心を培う。
- (3) 強健な身体と創造力豊かな自主的精神を育成する。

2. 中・長期的目標

(1) 学校の現状

・目標管理型学校経営の推進

職員は、教育目標実現のため、課、学年、教科、個人において、現状分析を踏まえ、計画（P）・実行（D）・評価（C）・改善（A）に取り組み、目標管理型学校経営に努めている。

・特色ある教育活動の推進

持続可能な社会の実現に向けて、グローバルな視点で活躍できる人材を育成するため、「スーパーサイエンスハイスクール事業」と「いしかわニュースーパーハイスクール事業」を両輪として、学校全体の教育活動の活性化を図っている。

・地域の小・中学校との連携

地域の未来を担う人づくりを進めるため、教育力及び学力の向上の必要性を認識し、小・中・高連携を意識しながら、継続的な教科指導の充実に努めている。

・個に応じたきめ細かな指導

社会情勢の変化や生徒の心身の発達の段階及び特性を考慮して1年次より高い志を育むとともに、きめ細かな指導を3年間継続し、高い進路実績をあげている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ・教育活動全体を通して、他者を思いやり互いに人権を尊重し、主体的に自らの未来を拓く、たくましい人格の形成を図る。
- ・キャリア教育を推進し、将来設計に基づいた高い進路目標を実現できる学力の育成を図る。
- ・高い災害対応力を持って、ふるさとを愛し、グローバルな視点に立って社会に貢献できる人材の育成を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ・目標管理型学校経営の意義や必要性を理解し、経営参画意識を高め、組織的に教育活動に取り組む。
- ・生徒の進路志望実現のために、絶えず研究と修養、情報の収集・整理に努め、指導力を高める工夫・改善に取り組む。
- ・災害対応力を強化し、地域や保護者の負託に応える教育活動を推進する。
- ・心身ともに健康的に従事できる環境のもと、各教職員が自身のワークライフバランスを意識し、質の高い教育活動に取り組む。

3. 今年度の重点目標

(1) 豊かな人間性と国際性の育成

- ・校内外のあらゆる活動を通して、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦し、課題解決ができる力を育成する。
- ・異文化を理解しながら、ふるさとに愛着と誇りを持ち、グローバルな視点で社会に貢献する資質と態度を育成する。

(2) 進路志望実現のための学力の形成

- ・基礎学力の定着を着実に進めるとともに、教科横断型の探究型学習を推進し、主体的に困難な課題と向き合い考え抜く力を育成する。
- ・生徒の可能性を最大限に引き出し、多様な大学入試制度の変化に対応できる進路指導を実践する。

(3) 教員の総合的な指導力の育成

- ・「石川県教員育成指標」を踏まえ、教職に必要な素養、教科指導力、学級経営力、生徒指導力などの実践的な指導力の向上に努める。
- ・校内でのOJTによる若手研修を、中堅・ベテラン教員の経験を活かしながら効果的に進め、教職員全体の指導力向上を図る。
- ・GIGA スクール構想に基づいて、1人1台端末を効果的に活用した授業を実践する力を身に付けることにより、生徒の学びの変容を促す。

(4) 安全で魅力ある学校づくり

- ・特色ある教育活動（SSH・NSH事業）を持続できる体制を構築し、その成果を全国的に普及する。さらに、小・中・高・大・企業・自治体等と連携・交流を推進し、能登の科学教育の水準向上を目指す。
- ・学校および生徒ひとり一人の災害対応力を強化し、能登の創造的復興を目指して、ひと・もの・こととつながり、社会問題を解決する力を育む。

(5) 働き方改革の推進

- ・教職員は「石川県立学校における教職員の多忙化改善実施計画」に基づき不断に業務改善を進めるとともに、「働きがい」を持って教育活動の質的向上に努める。